

令和8年熊本地震

「令和8年熊本地震」により熊本県宇城市や氷川町を中心に多大な被害が出ています。熊本県は8月3日、県内の16市町にある155ヵ所に計8,262人が避難していると明らかにしました。しかし、車中泊の人数は把握しきれておらず、実態はさらに多いとみられています。40度を超える酷暑の中、断水は5市町の約4万5千戸で続き、家屋被害は推計約1万2千棟に上ります。猛暑の中避難所では、熱中症や感染症とみられるケースが相次ぎ、断水でトイレの環境は悪化しています。また、車中泊での熱中症による災害関連死疑いも生じ、38名の方が亡くなっています。

ひがし労は、熊本中央法律事務所を通じて避難所となっている川岳福祉会に一時金を届けました。引き続き被災者への支援を取り組んでいきます。皆さまのご支援をお願いいたします。

